

令和3年度（2021年度）

第2回 熊本市公民館運営審議会 審議資料



日時：令和4年(2022年) 2月15日(火) 14時00分～  
オンライン開催

# 目 次

ページ

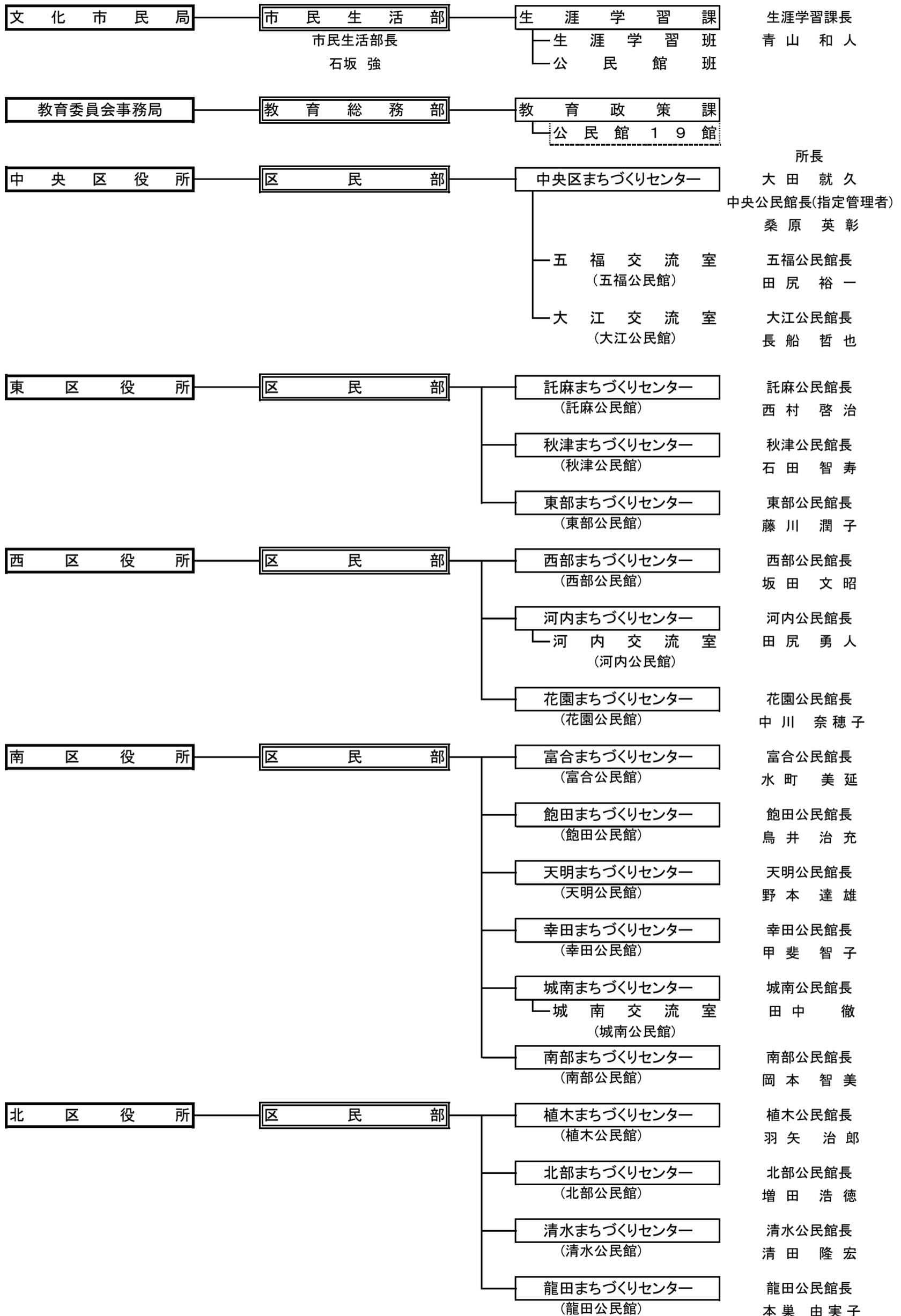
<u>熊本市公民館運営審議会委員名簿</u> . . . . .	1
<u>熊本市公民館関係組織図</u> . . . . .	2
<u>議事1 令和3年度重点事業等の実施状況について</u> . . . . .	3
<u>議事2 公設公民館見直しの進捗状況について</u> . . . . .	17

## 熊本市公民館運営審議会委員

区分別・五十音順・敬称略

区分	氏 名	所属団体・役職等	備 考
学校教育	穴井 佳典	熊本市小学校長会 熊本市立高橋小学校長	
学校教育	諏訪園 勉	熊本市中学校長会 熊本市立西山中学校長	
学校教育	成清 信彦	熊本市立幼稚園長会 熊本市立一新幼稚園長	
社会教育	加藤 貴司	熊本市地域公民館連絡協議会会長	
社会教育	小柳 高子	熊本市青少年健全育成連絡協議会評議員	
社会教育	中島 敬治	市民公募	
家庭教育	稲田 憲生	熊本市民生委員児童委員協議会副会長	
家庭教育	内野 理恵	家庭教育学級長（出水小学校）	
家庭教育	高梨 沙織	熊本市P T A協議会常任理事	
家庭教育	福島 貴志	熊本市ボランティア連絡協議会副会長	
家庭教育	山田 はる美	熊本市子ども会育成協議会理事	
学識経験者	香崎 智郁代	九州ルーテル学院大学人文学科准教授	
学識経験者	澤田 道夫	熊本県立大学総合管理学部教授	
学識経験者	藤井 美保	熊本大学教育学部准教授	

# 熊本市公民館関係組織図



## 議事Ⅰ 令和3年度(2021年度)重点事業の実施状況について

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う外出自粛等により、市民の生涯学習活動も自粛を余儀なくされており、公設公民館においても各種事業の実施に大きな影響を受けている。感染拡大の影響が長期化する中、生涯学習の機会の提供及び活動の支援を行うため、感染症防止対策を講じるとともに、新しい生活様式に適應した工夫を凝らしつつ、以下の重点事業に取り組む。

### 令和3年度 重点事業項目

#### (1) 学習機会(公民館講座)の充実

各ライフステージの特徴に応じた学習機会の充実に努めるとともに、社会の要請や地域課題に対応した学習機会を提供する。

- ① 関係課や関係機関(NPO等)と連携した講座の実施
- ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施
- ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施

#### (2) 学習成果を生かす環境づくり

生涯学習社会の構築を目指して、ボランティアや地域人材、講師等を養成し、学んだ成果を学校、地域及びまちづくりに生かせる環境を整える。

- ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供
- ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充
- ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援

#### (3) 世代間交流の促進

幅広い年代の交流を図り、誰もが気軽に利用できる環境を作る。

- ① 大学生等の若い世代が公民館活動に関わる取り組み
- ② 郷土文化財制度等と連携した小中学生を対象とした地域文化財関連の講座等の開催

#### (4) 新しい生活様式に適應した事業の展開

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、新しい生活様式に適應した事業を展開する。

- ① 公民館オンライン講座(動画配信)の実施
- ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施
- ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施

## (1) 学習機会（公民館講座）の充実

各ライフステージの特徴に応じた学習機会の充実を図るとともに、社会の要請や地域課題に対応した学習機会を提供する。

### ① 関係課や関係機関（NPO 等）と連携した講座の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染を恐れて長時間や頻繁な外出をさける人や、外出すること自体億劫になった人もいと聞く。しかし、誰かと一緒に何かをするということは1人で同じことをするよりも多くの充実感を得られる。人との接触が制限される状況下になり、より人とのつながりを大切であるという認識も広がっている。そこで、コロナ禍においても、なんとか繋がり場を作ろうと各館で努力してきた。また、関係各位との連携も積極的に行った。

#### オンラインでつながろう（河内公民館）

ZOOM アプリを使い、講師と公民館、コミュニティセンターをつなぎ、地域の高齢者が体を動かしたり、刺激を受けたりする機会を作り、遠出せずとも、みんなで同じ時間を共有し、健康の保持増進に努めた。「とても楽しかった」との声に、つながることの楽しさを提供できた講座となった。

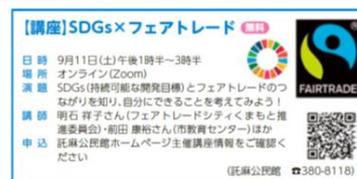


#### 教育相談室・危機管理防災室からの防災・保健子ども課からの感染予防（清水公民館）

市内の小中学生で学校に行けなくて困っている子に公民館を活動の場として提供していたり、熊本市の他課職員と連携して、「危機管理防災総室からの防災」「動物愛護センターからの動物愛護」「保健子ども課からの感染予防」などの講座を企画したりし、他課の専門的知識や市の活動を広報することに努めた。他課とのつながりが市民へと広がっていった。

#### SDGs×フェアトレード～世代を超えて学び高校生と語るより良い世界の創造～（託麻公民館）

SDGs とフェアトレードについて学び、今後私たちがどのように行動に移していくかを考える講座で各世代をオンラインでつないで意見交換する場を設けた。多様な団体との連携によって、役割分担をしたりすることで、それぞれの強みと特技を生かし、繋がりもできた講座となった。



### ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施

熊本は、地震や水害など大きな自然災害を経験しているが、時間がたつと、その記憶が薄れてしまうものである。そこで、災害を振り返り、その時どのような活動を行ったのかという話を聞く講座を実施した。災害はいつまた起こるか分からないということも踏まえ、日常からの備えと、少しでも意識し続けていくことが重要である。防災はアウトドアにも通じるものも多いので、楽しみながら防災に触れる講座の企画も行った。災害時にも役に立つ、アウトドアのノウハウを参加者に体験してもらいながらも、「人との関わり方を学ぶ」、「互いに思いやり助け合う」といった目標も掲げて講座を実施した。

#### ア 熊本地震や豪雨水害の経験を振り返る

#### 防災について考えよう（SDGs×防災）（託麻公民館）

熊本市がSDGs未来都市として掲げている目標の一つ「熊本地震の経験を生かした災害に強いまちづくり」を意識して企画した。熊本地震で避難所を運営した体験者や防災士などの有識者に参加してもらい、Zoomを利用することで広い地域の参加者の防災意識を高めることをねらった。



## イ 楽しみながら防災に役立つ力をつける

### 親子で緒戦!メスティンでご飯を炊こう (花園公民館)

家族で飯盒炊飯を体験した。もしもの時の防災にも役立つ料理法を家族で学ぶことができた。自分にできることを協力して取り組む姿勢を身に付けてほしいと願って企画した。ボーイスカウトとの協働で実施し、野外活動の技術を生かした防災の取り組みを体験する良い機会となった。



### わくドキぼうさい調査隊! (南部公民館)

小学生のうちから防災への意識を高めることためには、親子での共通体験が有効であろうと考え、親子での体験プログラムを企画した。この年代から災害への関心を持つことで、あらゆる集団の中でも備えることの大事さを広めるキーパーソンになってくれることも期待して実施した。



## ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施

昨今、あらゆる人権課題がそれぞれにクローズアップされ、課題解決に向けた取り組みが様々な形で行われており、人権を尊重する機運は少しずつ高まっている。その一方で、命を脅かす事件が後を絶たないのも事実である。人権尊重の理念を普及させ、それに対する理解を深めるためには、今後も人権教育・啓発を継続し続ける必要がある。

さまざまな人権課題に触れ、学びを積み重ねていく機会を一つでも多く作り、コロナ禍でも学びを止めないことが大変重要である。さらに学んだことを家庭・学校・地域で活かしていただくためにはどうしたらいいか考えながら、講演会及び講座(ハートフル講演会や人権啓発作品等の掲示を含む)を全館共通で企画・実施した。また、人権に関する話題をたくさんの方に知っていただくため、人権チーム中心にコラムを作成し、公民館だよりに掲載する取り組みも行った。

### 心に響くギター弾き語り:大山桂司さん(龍田公民館)

視覚障害のある大山さんの、心のこもったすばらしい歌や演奏を聞きながら、心の中にあるバリアをなくしていきたいというねらいのもとに企画した。歌や演奏とともに講師の思いが強く伝わってくる講演会となり、障がいや「自分事」として捉えることができた。



### 人権文化セミナー(城南公民館)

年間5回の講演会を実施、さまざまな人権課題に触れ、新たに気づいたり、理解を深めたりする場として企画した。地域に活かすことができるよう教職員・PTA・行政職員を中心として開催。またオンラインでの配信も活用し、多くの方が参加した。



### 公民館だより(人権に関する話題提供)

「じんけんコラム ホツと♡スペース」という題で、様々な人権に関する話題を、各公民館の公民館だよりに掲載して啓発する取り組みを行っている。この記事を読んで「大切なことを、公民館だよりに書いてくれてありがとう」というお電話をいただいたこともあった。

じんけんコラム ホツと♡スペース

ひととやさしい、じんけんやさしい  
あたたかい話題をどうぞ!

**新型コロナウイルスワクチン接種に関連した人権侵害の防止について**  
全国的にワクチン接種が進む中、副反応等の情報が報道されています。一人一人が異なる状況や考えがあることから、一律にワクチン接種等を強制することはできません。また、体質や持病等の理由により接種を受けない、受けることができない方もいます。ワクチン接種は、感染予防の効果と副反応について理解したうえで、あくまでも本人の意思に基づき行うものです。ワクチン接種を受けない人に対する、接種の強制や差別的扱い、非難は人権を侵害する行為です。もちろん受けた人に対する差別や中傷等も同様です。受ける、受けない、どちらの選択も尊重される必要があります。感染やワクチン接種等、日々誰もが不安を抱えて生活しています。しかし、不安を理由に誰かを傷つけることはあってはなりません。ワクチン接種に関する人権侵害を防ぐために、皆様のご理解とご協力をお願いします。



### 人権啓発作品等の掲示

公民館のロビーに、熊本市の幼稚園や保育園からは「ねえねえ先生」の作品、小・中学校からは児童生徒の皆さんの人権啓発作品の入賞作品を展示している。心温まる作品に足を止める来館者の姿も見られた。



## ※ 成果と今後の課題 ※

### 《成果》

各館で工夫しながら取り組みを行ってきた。講座に参加された方々が楽しく学ぶ姿も見ることができた。コロナ禍でも学びを止めないよう、Zoom の利用や屋外での活動の実施、少人数でのガイドラインに則った講座の創出など、新しい時代に向けての挑戦を行ってきた。

### 《課題》

社会教育で養成する学びは、「探究心、創造性、環境意識」、「他者への関心、協調性、コミュニケーション能力」、「意欲、実行力、決断力、自己肯定感、自己管理能力」といった非認知能力を高めていくと考えられるが、これらの「生きていくために必要な能力」を数字で評価するのは難しい。

これらを把握できるようなアンケート内容を考えてアンケートを実施したり、聞き取りなどを行ったりすることによって、現状を把握し、目標を設定することが大切であると考えられる。そこには専門家との連携なども必要となるであろう。また、生涯学習社会の実現という大きな目標の具体的な中身を共通理解するため、公民館の運営にかかわる職員の体験活動への参加の機会を設けることも必要だと考えている。

## (2) 学習成果を生かす環境づくり

学んだことを生かして活動に取り組むことは学習を定着させるために非常に大切な手段である。生涯学習に親しむ一人一人が、自分の好きなことや得意なことを生かして他の人とのつながりを作ってもらうことで、生きがいを見出すことができる人もいるかもしれない。また、特技を地域のために生かしたいという方々に講師になっていただき、新たなコミュニティの創出をサポートするというのも公民館の重要な役割である。

「生涯学習社会の構築を目指し、ボランティアや地域人材、講師等を養成し、学んだ成果を学校、地域及びまちづくりに生かせる環境を整える。」という目的をもって取り組みを行った。

### ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供

公民館では、「傾聴ボランティア養成講座」「花いっぱいボランティア」「絵本ボランティア養成講座」「障がい者サポーター養成講座」など、様々なボランティアや地域人材を養成していくための講座を実施している。その中でも地域の特色がある取り組みを紹介する。

#### 「アートフラワーで水前寺を元気にしよう」（大江公民館）

出水中学校の総合的な学習の時間で「水前寺を元気にする」プランの一つとして、アートフラワー協会の方をおかけ公民館で講師として派遣し、製作に取り組んだ。製作した作品を市電の中や電停に飾ることで、利用者の方に喜んでいただくことができた。この取組は新聞にも掲載された。



#### ほたる川調査隊（秋津公民館）

住宅街でホタルの飛ぶ様子が観察できる環境があることを、地域でもあまり知られていなかった。そこで、地域の良さを再発見してもらい、活動を通してボランティアマインドの高揚や地域コミュニティ形成と人材を発掘し組織の形成、継続した活動につなげていくことを目標として観察と清掃活動を行った。



## ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充

おでかけ公民館の制度を活用し、新学習指導要領でも謳われている「社会に開かれた教育課程」実現に向けてサポートするとともに、公民館同士で連携して、学校での学びを発表する場の設定をコーディネートした。その際、熊本市がSDGs未来都市に選定されていることも踏まえ、SDGsと繋いだ構成で取り組みを行った。また、子どもたちが発表したり活動したりする場をコーディネートしたり、子どもたちの声を市政だよりも積極的に紹介したりして、子どもたちの学びを地域に発信するよう心掛けた。

### ア 熊本市の事業と学校の学びの連携

#### フェアトレードについて学ぶ (東部&託麻公民館・熊本市教育センター)

月出小学校の6年生が、おでかけ公民館でSDGsとフェアトレードについて勉強した。フェアトレードの意味は「公正な取引」。カカオの実を取るために働かされ、学校にも行けずにいる子どもたちの様子が画面に映し出されると、食い入るように見つめていた。この授業の後、さらに学びを深めた。

熊本市はアジア初のフェアトレードシティで、2021年に10周年を迎えた。月出小学校では、おでかけ公民館でフェアトレードについて学び、学んだ成果をまとめ、熊本市主催のフェアトレードシティ国際フォーラムにて、ステージに登壇し、学びの成果を発表した。

#### イ 総合的な学習の時間の学びを地域で生かす

#### 障がい者サポーター養成講座 (託麻公民館・障がい保健福祉課)

中学校2年生は、ナイスストライ(職場体験学習)が実施できない代わりに、SDGsについて学んだ。さらに学びを深めるため、全員で「障がい者サポーター養成講座」を受講した。生徒たちが自ら見つけた課題を解決するための方法を考えていた。

#### 地球温暖化と防災について学ぶ (託麻公民館・総務企画課)

アンケートで一番関心の高かった地球温暖化について詳しく学んだ。地球温暖化がきっかけとなって起こる異常気象について、気象予報士や防災士の方から話を聞いた。また、気象情報の見方やハザードマップなどについて学び、具体的にどんな行動をとっていくとよいかを考えた。生徒たちは「家族や周りの人に学んだことを伝える」「天気予報などをしっかり見る」「ハザードマップを確認する」「防災グッズを用意する」などの意見を出していた。

障がいを持った方の視点を学び、ハザードマップを確認することの大切さに気付いた生徒たちは、自分たちが地域に貢献できることを考え、学んだことを意識しながら地域を歩いて「えがお健康スタジアム」に行き、スタジアムの清掃をするというボランティア活動を行った。

#### フェアトレードについて学ぶ

月出小学校の6年生が、おでかけ公民館で、SDGsとフェアトレードについて勉強しました。フェアトレードの意味は「公正な取引」。カカオの実を取るために働かされ、学校にも行けずにいる子どもたちの様子が画面に映し出されると、食い入るように見つめていました。子どもたちからは「学校に行かなくて良いなんて、いいなと思っていたけれど、全然そんなことはなかった。」「フェアトレードの商品をお店で探してみたい。」といった意見が出ていました。



(託麻公民館 ☎380-8118)

#### SDGsを学ぶ



二岡中学校の2年生は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度のナイスストライ(職場体験学習)が実施できない代わりに、おでかけ公民館の制度を活用して、SDGs(持続可能な開発目標)について学び、世界や地域の課題に目を向け、自分たちにできることを考えながら学びを深めています。今回は、SDGsの「誰一人取り残さない」という視点と、SDGs10「人や国の不平等をなくそう」という内容について学ぶということで、6月18日に2年生全員で「障がい者サポーター養成講座」を受講しました。「今までの視点よりもっと広い見方、広い心を持つことで、色んな人が住みやすい町になるということを知りました。」「これから困っている人を見かけたら声をかけたりしたいと思いました。」「今まで声をかける勇気が出なかつたりしたけど、今なら声をかけてサポートしたりできると思う。」「などの感想も。生徒たちが自ら見つけた課題を解決するための方法を考え、実際に行動に移しながら学びを深めていきます。

(託麻公民館 ☎380-8118)

#### 地球温暖化と防災について学ぶ



SDGs(持続可能な開発目標)について学ぶ学校が増えています。出前講座やおでかけ公民館などを活用した取り組みをご紹介します。

託麻西小学校5年生は、国語「環境問題について報告しよう」という授業と、総合的な学習の時間の授業とをつないで、講師や地球温暖化防止活動推進員から、SDGsや地球温暖化について学ぶ時間がありました。授業では、「環境問題についてもっと知りたい」「自分ができることをやっていきたい」という子どもたちの声がありました。授業後は、自分から進んでSDGsや環境問題について調べ学習をしたり、会話をしたりする姿も見られたそうです。



二岡中学校2年生は、総合的な学習の時間に、アンケートで一番関心の高かった地球温暖化についてさらに詳しく学びました。地球温暖化がきっかけとなって起こる異常気象などについて、気象予報士や防災士の方から話を聞き、「クロスロード」というゲームを体験しました。また、気象情報の見方やハザードマップなどについて学び、具体的にどんな行動をとっていくとよいかを考えました。生徒たちは自分たちにできることを考え、「家族や周りの人に学んだことを伝える」「天気予報などをしっかり見る」「ハザードマップを確認する」「防災グッズを用意する」などの意見を出していました。今後は、ハザードマップを持って地域を歩いてみたり、大雨や台風などに備えてマイタイムラインを作成したりしてさらに学びを深めていく予定です。

(託麻公民館 ☎380-8118)

**SDGsを学びました！**

泉ヶ丘・画図小学校の3年生、泉ヶ丘・健軍東小学校の5年生は、おでかけ公民館を活用して、SDGs(持続可能な開発目標)について学びました。今回体験したゲームは、

泉ヶ丘小学校3年生  
画図小学校3年生  
泉ヶ丘小学校5年生

2030年までの世界をシミュレーションできるというもので、子どもたちはゲームの時間が終わる最後の最後まで諦めずに、みんなで協力してよりよい世界にしていこうと頑張る姿が見られました。終わった後は「人は、経済などに気をとられすぎて、社会や環境は全然気にしていないことが分かったので、これからは環境や社会にも気をつけて生きていこうと思いました。」「SDGsという言葉は聞いたことがあったけど、こんな活動をしていることを初めて知りました。私も自分のできる行動を一つ一つがんばって取り組もうと思いました。」といった感想も。授業後、「おうちでできるSDGs」について考えた学校では、「トイレの電気とか消し忘れが多かったので気をつけようと思いました。」「ものや食べ物を余分に買っていたから、これからは、いる分だけ買ってねとお母さんに伝えようと思いました。」といった意見が出たそうです。

また、先日おでかけ公民館でSDGsとフェアトレードについて学んだ月出小学校6年生の皆さんは、その後も学校内で学びを続け、11月13日に国際交流会館で開催されたフェアトレード国際フォーラムでその成果を発表しました。ステージ上で堂々と意見を述べ、素晴らしい発表でした。発表の中には、「安く働かせて安く買っている私たちは、大名と同じだと思います。」といった、フェアトレードを身分制度とつないで考えた意見もありました。また、展示コーナーには、国語の授業で意見文としてまとめたものが展示されていました。教科を超えてさまざまな学びがつながっています。

世界的な視野で考えつつ、自分たちにできることから行動していこうと頑張っている子どもたち。持続可能な未来のために自分にできることを考えてみませんか。

健軍東小学校5年生  
月出小学校6年生

授業後、「おうちでできるSDGs」について考えた学校では、「トイレの電気とか消し忘れが多かったので気をつけようと思いました。」「ものや食べ物を余分に買っていたから、これからは、いる分だけ買ってねとお母さんに伝えようと思いました。」といった意見が出たそうです。

また、先日おでかけ公民館でSDGsとフェアトレードについて学んだ月出小学校6年生の皆さんは、その後も学校内で学びを続け、11月13日に国際交流会館で開催されたフェアトレード国際フォーラムでその成果を発表しました。ステージ上で堂々と意見を述べ、素晴らしい発表でした。発表の中には、「安く働かせて安く買っている私たちは、大名と同じだと思います。」といった、フェアトレードを身分制度とつないで考えた意見もありました。また、展示コーナーには、国語の授業で意見文としてまとめたものが展示されていました。教科を超えてさまざまな学びがつながっています。

世界的な視野で考えつつ、自分たちにできることから行動していこうと頑張っている子どもたち。持続可能な未来のために自分にできることを考えてみませんか。

(託麻公民館 ☎380-8118)

### ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援

読み聞かせ、歴史の学習、音楽など多様なサークルが公民館を利用している。地域の催し物へのお誘い、主催講座への講師依頼等、発表の場をできるだけ多く用意するよう心掛けている。人と人が出会う場をたくさん用意することによって、新しいコミュニティを形成することにもつながる。学びを地域に生かす環境を意識して整備することは、生涯学習を推進する上で非常に大きな意味があることも踏まえて企画した。

<p><b>公民館サポーター</b></p> <p>毎月一回、公民館の花壇の整備を中心に活動が行われている。地域の方の交流の場にもなっており、この日を毎月楽しみにしている方もおられる。</p>	
<p><b>おはなしの部屋</b></p> <p>毎月一回、おはなしの部屋のボランティアの皆さんによる、おはなし会を開催している。毎回、何組かの親子が参加があり、好評である。複数の公民館で実施している。</p>	

### ※ 成果と今後の課題 ※

公民館での学びを生かした地域での実践はこれまでも多数実施してきたが、休館などで思うように講座を実施することができないこともあった。いかなる状況でも取り組みを続けていくことができるよう、各館で試行錯誤してきたところである。「取り組みの記録をいかに地域や関係各課に周知するか」というのも重要な課題であるが、各館での様々な工夫を行った。例えば、おでかけ公民館の実績を市政だよりに掲載することにより、市民にはもちろん、関係各所に活動を知らせる工夫をした事例もある。今の取り組みを拡充し、次のステップへと進んでいくためには、各館で実施した実践を整理し、密に共有する必要がある。

また、令和2年度(2020年度)第2回公民館運営審議会のご意見も踏まえ、ホームページや SNS、市政だよりや公民館だよりなどを更に活用し、熊本市の各課や公民館の取り組みを広めるため、広報チームを立ち上げた区もある。発信の手段も含め、熊本市の各課とも連携しながら検討を重ね実行していきたい。

今後は、情報発信、実践の共有などを行っていくことで、より充実した活動を目指していくとともに、新しい公民館の利用の形を模索していきたい。

### (3) 世代間交流の促進

#### ① 大学生等の若い世代が公民館活動に関わる取り組み

##### 「熊本大学生のメイクフレンズと世界に一つだけの手作り衣装で大変身」（中央公民館）

大学生が小学生との異年齢同士で遊びを通じたプログラムを企画し実施した。下地に大きいビニールで、それぞれに折り紙やモール、スパンコール、綿などを貼り付け制作。出来た衣装でファッションショーにチャレンジした。



##### 「世界に一つだけのキラキラクリスマスノードームを作ろう！！（五福公民館） ～一足早いクリスマスを楽しもう～

熊本大学メイクフレンズ五福ホール班との共同講座を実施。クリスマスの趣向を凝らしたコスチュームやグッズ、寸劇やゲームを準備して行った。子どもたちもスノードームのおみやげもでき、「楽しかった」と笑顔で帰っていた。

学生にも4月から教壇に立つ者もあり、自信を増やして子どもたちに会うことができそうと喜んでいた。



##### 「東区子どもチャレンジ公民館の活動」（東部公民館・秋津公民館）

熊本大学メイクフレンズと連携。

夏活動、秋活動、冬活動の年3回のまとまった活動を予定していたが、感染症の影響で次の日程で1回の活動となった。

12月5日（イベント本番：小学生プランナー企画「みんなでワイワイクリスマス」対象1～3年生、参加者30人）小学生プランナーに大学生が指導・助言を行った。3班に分かれ、低学年が喜ぶイベントをプランニング。当日は管内小学校より30名の参加者が集まり、プランナー、小学生のどちらにも笑顔が生まれていた。



##### 「英語で遊ぼう」（託麻公民館）

九州ルーテル学院大学の大学生と先生が講師となって、小学生を対象としたイベントを開催。講師のケビン先生の楽しいお話と、大学生によるゲームやクイズ、出し物等を行い、子どもたちも楽しそうに参加していた。



### 「英語であそぼう」（幸田公民館）

熊本県立大学の英米学科の協力を得て、取り組みたい学生（教員免許取得済）が、趣旨を理解し、準教授の指導の下、意欲的に取り組んでいた。

子どもの実態に応じて、学ぶ内容について工夫して、名札カード作りや基本的な会話のやり取りをペアで行ったり、参加者が楽しめるよう宝探しゲーム・YouTube 視聴（ハロウィンの起こりについて）を行ったりした。



### カードやボードを使った「アナログゲーム」（龍田公民館）

遊ぶことを通して、人と直接コミュニケーションをとることの楽しさや、ゲームのルールを楽しむことを体験した。講師として、龍田公民館を利用している「アナログゲームの会ドラゴン」のみなさんに協力をお願いした。小学生にもゲームのルールが伝わりやすいよう、実際に一緒にゲームをしながら詳しく説明した。2時間の時間に3種類のゲームの紹介を行い、最後に自分のお気に入りのアナログゲームを選んで楽しんだ。



### 「西区子どもチャレンジ公民館での映画作り」（花園公民館）

子どもたちと共に大学生や高校生も撮影のスタッフとして参加。「西区で映画を作る」をテーマに、取り組みの中で西区の良さを見つけたり人との交流を持ったりする機会を生かして、普段できない体験を子どもたちに味わわせた。



### 「スマートフォンヘルプデスク」（西部公民館）【実施予定】

目と鼻の先に熊本県立熊本西高校がある。西高にはボランティアサークルがあり、地域への貢献をしたいと考えられているとお聞きした。そこで、公民館で行っている「パソコンヘルプデスク」とコラボして「スマートフォンヘルプデスク」を計画しようと考えた。対象として考えているのは主に高齢者である。

### 「ほくぶキッズ遊学塾の活動」（北部公民館）

地域のボランティア団体 北部高校生ボランティアサークル「わいわいHVC」の協力のもと、月1回のペースで、北部公民館オリジナルの子どもチャレンジ公民館の取組を15年以上、続けている。今年は、コロナ禍で、思うように活動はできないまでも、ものづくり体験や熊本博物館見学、ふれあいクリスマス交流会等、遊学塾生が考えた取組を少しずつ積み重ねる中で、塾生間のつながりやわいわいHVCとのつながりを通して、ふるさと北部への思いも高まってきている。



## ② 郷土文化財制度等と連携した小中学生を対象とした地域文化財関連の講座等の開催

### 「南区子どもチャレンジ公民館 熊本城博士ちゃん」 (天明公民館)

熊本地震後、リニューアルした熊本城天守閣がオープンする今年に合わせて、熊本城の魅力を小学生が再発見するために企画。熊本地震後の復興の象徴として天守閣の修理が完了したので、熊本城を改めて学習する機会とした。熊本城の魅力や歴史をプランナーがよかこ案内人の会の方を講師に学習。「熊本城博士ちゃん」として、プランナーがガイド役にチャレンジ体験する。ガイド本番では、南区の小学生を一般参加者として募集し、プランナーがそれまで学習や練習してきた発表内容を一般参加者の小学生を相手に現地でガイドを行った。



### 「田原坂ウォークラリー」 (植木公民館)

植木町の歴史ある「田原坂ウォークラリー」だが、平成 28 年度からは、田原小学校児童によるボランティアガイドも参加し、好評を得ている。6 年生が美少年姿の衣装をまとい、チェックポイントの場所で、参加者に名所・史跡の説明をするのである。当日までの学習において、田原坂資料館や学校で事前学習を行うが、その時に、「田原坂ガイドの会」の協力を得ている。植木公民館での主催講座「植木の史跡・名所の歴史を学べ」の受講生でもあり、講師も兼ねる方々である。郷土の歴史に関心を持たせ、郷土を誇りに思う人材の育成に努めている。



### 【河内小】「地域の石碑について」【芳野小】「芳野地区の文化財について」 (河内公民館)

河内小「地域の石碑について」は、講師：河内公民館職員、芳野小「芳野地区の文化財について」は、講師：市博物館職員で実施した。初めて知ることが多く、子どもたちもとても興味深く、話に聞き入っていた。



### 「地元水前寺を元気にするプロジェクト」への手話講師の派遣 (大江公民館)

出水中学校から総合的な学習で、「地元水前寺を元気にするプロジェクト」の1つとして、水前寺周辺の施設を動画に撮って一般市民に紹介し、水前寺周辺をもっと知ってもらいたい。その動画に手話を挿入したいということで、手話の講師を紹介した。



### 清水地域で赤十字活動の先駆けとして活動した偉人「鳩野宗巴」の講座（清水公民館）

日本赤十字社の前身の博愛社よりも先に戊辰戦争・西南の役で、敵味方関係なく傷ついた兵士・町民を助けていた医者について書かれた本がある。その本の作者の方を講師に招き、清水地域で赤十字活動の先駆けとして活動した偉人として「鳩野宗巴」の講座を開催した。この本は元々子どもたちに劇をして欲しいという思いで書かれたもので、講座の最初に公民館でボランティアで読み聞かせをしていただいた。「語り手の会」の読み聞かせで始まり、そして、講演を行った。



### 「親子で勾玉(まがたま)作り」（城南公民館）

塚原歴史民俗資料館及び城南児童館との協働企画として講座を設定。私たちの先祖が生きた古代に興味を持ち、城南地域の文化財である塚原古墳公園をより楽しめるように親子で勾玉(まがたま)を作る活動を行った。

まず塚原古墳公園・歴史民俗資料館の紹介や勾玉の用途など古代の様子についての学習をし、古代人の生活に思いを馳せる時間をとった。その後、親子それぞれ「ろう石」を勾玉の形に削り、磨き上げて、染料につけて色をつける作業を行った。最後にひもを通して世界にひとつだけの勾玉制作を終えた。



### 「坐禅体験講座」（南部公民館）

大慈禅寺は、古くから曹洞宗の本山として人々の信仰を集めている。梵鐘は国指定重要文化財、宝塔等が県指定重要文化財や境内自体も県指定史跡である。

今回は、佐藤泰道住職の協力のもとコロナ禍の中において坐禅体験講座の希望を受け入れていただき、参加対象をどなたでもということに設定し、小中学生の参加を期待した講座として企画。坐禅の組み方の解説を含めた大慈禅寺の歴史等の講話を聞き、坐禅堂での坐禅体験、その後に参加者みなでお粥膳をいただくという内容で実施した。



### 卒業記念製作「夢獅子づくり」（飽田公民館）

飽田南小学校卒業を前に卒業記念製作を熊本市内在住、おばけの金太の製作者である人形師 厚賀新八郎さんを講師として、「夢獅子づくり」を行っている。卒業生の将来の夢を獅子頭製作に込めて、牛乳パックを土台に紙粘土を使っの製作である。全員が講師の話をしっかり聞き、全4回の工程で型作り・色つけ・仕上げの製作作業を行った。



### 「日本舞踊講座」 (富合公民館)

地域(近見在住)の花柳流講師花柳みちしゅう先生による年間の日本舞踊講座。年中生から高校生まで15名の参加。年度末には富合ホールにて発表会。

### 「寂心さんの樟を囲んで」 (北部公民館)

熊本市光のマスタープランに基づき、地域資源等の照明演出を支援する「ライトスケープ・キャラバン(夜間景観実証実験)」として県の天然記念物「寂心さんの樟」のライトアップがなされ、地元の北迫自治会及び北部まちづくりセンターの主催で「寂心さんの樟を囲んで」の夜間ライトアップイベントが行われた。その中で、地元自治会である北迫地区在住の小学生、中学生を中心に地域の方々に対して、寂心さんの大樟に関するお話を北部公民館の主催講座の講師で、熊本地名研究会の北部地区在住の藤本博さんからお聞きした。日中は寂心緑地公園で遊んだ経験はあるものの、夜間、ライトアップされ、いつもとは違った神秘的な雰囲気の中で、お話を聞き、ふるさとの誇りである寂心さんの大樟についての愛着や誇りを更に高めることができる内容であった。



### ※ 成果と今後の課題 ※

#### 《成果》

- ・大学生や若い世代の人たちが公民館活動に関わることで、活動内容の活性化がなされ、今までにない多様な魅力ある取り組みがなされてきた。
- ・地域の文化財等に視点をあてることで、身近にありながら知らなかったことがわかるようになり、ふるさとに対するの誇りや愛着が持ててきた。

#### 《課題》

- ・大学生や若い世代の人たちとこれからも連携していけるように、魅力ある講座づくりができていくように連携を密にして、継続的な取り組みとなるように創意工夫していきたい。
- ・ふるさとに誇りや愛着が持てる小中学生を育成していくためにも、諸機関と連携しながら、地域文化財の掘りおこし、講座化が必要である。

## (4) 新しい生活様式に適応した事業の展開

### ① 公民館オンライン講座（動画配信）の実施

ア 社会教育主事らによる動画製作と配信。

- 熊本市社会教育主事で新しい生活様式に適応した事業の展開のテーマに則って、熊本市に所縁のある題材で動画を製作した。「熊本の郷土料理を作ってみた～いきなり団子編～」をテーマに中央公民館に集い、準備・撮影・製作・出演を行った。その後撮影したデータを編集し、YouTube 動画として市公民館チャンネルにアップした。動画は限定公開として視聴できるアドレスを各公民館に送付した。各公民館では主催講座として募集をしたり、ホームページ等で案内・紹介したりして活用した。



- 主催講座の「子ども舞踊」の講師の振り付けを撮影。YouTube 動画として市公民館チャンネルにアップし、講座生に向けて限定公開を行った。



イ オンライン動画を中心とした主催講座の開催

- 新型コロナウイルス感染症のため集合開催予定だった講座を動画として製作し、配信した。「放牛さんとへふり地蔵」（講師 熊本博物館職員）「作ってみよう！みかん大福」（講師 河内公民館職員）
- Zoom を用いた講座…北部公民館 全 12 回「健活教室」（講師 ささえりあ北部 菊南病院 すまいる縁寿）、飽田公民館「Zoomおはなし会」（講師 飽田地域の読み聞かせボランティア「ハイジの会」）
- 集合開催と Zoom 配信のハイブリッド型講座  
清水公民館、託麻公民館合同開催（講師 坂本義喜さん）



- インスタグラムのライブ配信とアーカイブ保存  
城南公民館「ママと赤ちゃんの手作りソーイング」

## ② デジタルディバイド対策を含めた ICT 講座の実施

- 初心者向けパソコン講座

龍田公民館 パソコンの操作方法、Word 文書作成、  
ワクチン予約サポート



- タブレット・スマホの利用の仕方(ワクチン予約等)  
清水公民館・西部公民館 他



- Zoom の使い方講座

東部公民館・五福公民館他(講師 マリオネット)

- ライン講座

秋津公民館・西部公民館・五福公民館他



- QR コード講座

秋津公民館

- スマホ基礎講座

五福公民館・花園公民館・幸田公民館 他



## ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座

- 河内公民館 (講師 藤田洋一さん

KM バイオロジクス)

### 河内公民館からのお知らせ

#### 1月募集の主催講座のご案内

※開催予定です。新型コロナウイルス感染症の状況によって変更の可能性があります。

～教養講演会のお知らせ～

「新型コロナウイルス感染症とワクチン」

期日：令和4年1月22日(土)

時間：午前10時～11時半

講師：藤田洋一さん(KM・バイオロジクス)

申込：12月14日(火)から(先着順)

「河内の製鉄と塩づくりの歴史」

期日：令和4年2月19日(土)

時間：午前10時～11時半

講師：稲津博洋さん(熊本博物館)

申込：1月12日(水)から

場所：河内公民館多目的ホール 参加費：無料 対象：小学生以上の方 60人程度  
多数の皆様のご参加をお待ちしております。必ず事前のお申し込みをお願いいたします。  
(まきがい学級生は申込不要です)

「オンラインでつながろう(1月)」



### ※ 成果と今後の課題 ※

#### \*YouTube等 動画製作

- 他館と連携して開催することができるので、スタッフに余裕ができた。  
また、現場での情報交換ができたので知識が増えた。
- 振り付け動画は保護者も自宅等で見れるので、学びの様子が共有できる。  
また講座生も繰り返し見ることができ、講座生の意欲に応じることができた。

△動画やライブ配信に関して、ビデオ撮影の機器の取り扱いや撮影のテクニック、動画の編集の技術などが未熟なため、負担が大きかった。また、トラブルも数多く発生するため、少人数のスタッフでは対応が厳しい。

\*Zoom 等ライブ配信

○会場に来なくても自宅等で参加ができたので、距離や天候、交通手段、急な用事等に左右されずによかった。全国各地からの参加の講座もあった。

○お話会では画面いっぱい絵本を表示できるので参加者が集中できた。  
○インスタグラムのライブ配信を使い急な中止を回避することができた。

△Zoom 配信はライセンス上の問題があったり、配信場所のWi-Fiの環境やパソコンの性能などの問題があったりする。また、受講者にとってもZoomやスマホなどの使い方に不慣れな点や回線品質等の問題がある。

\*ICT 講座

○スマホを使い始めた方に対面で学ぶことができること、講座生同士で教えあうことができることが講座生に好評だった。

△ICT 講座では講師二人で指導したが、講師はもっと多いほうが良い。学生などのボランティアを活用したり、講座の形でないヘルプデスク的な場所をつくってみたりすることも考えていきたい。また、ICT を敬遠されている層に防災面やワクチン予約など利便性や活用の意欲を持たせる方法を探っていく必要がある。

\*新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施について

現時点で新型コロナウイルス感染症についての研究が進んでいるところであり、他地域での先行事例を踏まえながらこれからの実施を計画している。

◇新しい生活様式が急速に広まり、各年代、各個人に応じた ICT の基本的な知識・技能の差が生まれている。公民館ではその差を少なくする取り組みと同時に、ICT の良さを活用した講座の実施を検討していきたい

## 議事2

### 【公設公民館見直しの進捗状況について】 ～人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けた新しい公民館～ (報告)

令和4年2月 熊本市文化市民局 生涯学習課

#### 1 第一回審議会 議事3「公設公民館見直しの具体的取組について」に対するご意見への主な対応

##### (1) 見直しポイント① 多様な主体との連携による多彩な活動の推進

①民間事業者など多様な主体と連携した取組は有意義と思われる。近年では起業がCSR(企業の社会的責任)の一環として社会貢献活動に取り組んでいる事例も多い。企業側にも営利活動ではなく、CSR活動として行ってもらうように働きかけるとよいのではないかと。

##### (①の対応)

今後、民間事業者との連携を行うための社会貢献活動等を公募するなどの仕組み作りを検討しています。

## (2) 見直しポイント② ICTを活用した情報発信や利便性の向上等

### ①・双方向型オンライン講座の導入検討

- ・まちづくり推進の拠点性向上
- ・使用者登録(団体登録)の簡略化

上記3点については、すぐにできる内容であると思うので、今年度から実施してほしい。

#### (①の対応)

「まちづくり推進の拠点性向上」「使用者登録(団体登録)の簡略化」については現在マニュアル整備を行っており、準備ができ次第実施予定です。

「双方向型オンライン講座の導入検討」については、令和4年度当初予算にて、各区1館ずつのモデル事業としてオンライン講座の環境整備を行い、事業を展開していく予定です。

### ②時間単位や個人貸については、条例等の整備も必要だが、対応ができ次第早急に実施してほしい。

#### (②の対応)

時間単位での貸出や個人貸については、令和4年第1回定例会で条例等改正を行い、令和4年10月から実施予定です。

## (3) 見直しポイント③ 講座体系の見直しや世代間交流の促進

①講座体系の見直しや、世代間交流の促進など今までも公民館が取り組んできた。特に若い世代を取り込んだイベントも下火になりつつある。持続可能な魅力のある取組を再考する必要があると思う。

#### (①の対応)

コロナ禍において、地域の祭りや運動会など子どもから高齢者までの地域住民同士が交流する機会が激減していることから、オンラインで老若男女問わず幅広い交流を図りながら、生涯学習の維持、高齢者の健康支援、新しい地域交流の機会創出などを目的とするeスポーツ事業の実施などを予定しています。

## 2 公設公民館見直しの取組の進捗状況

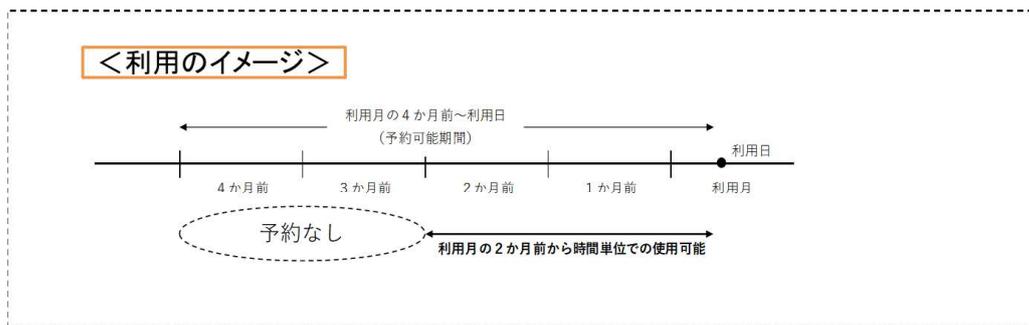
### (1) 公設公民館における利便性向上等の取組について

#### ① 施設予約の利便性向上

新予約システムを構築し、来館での予約抽選から、来館せずともシステムで予約可能とし、予約希望が重なった場合は自動抽選を実施。⇒ 令和4年度中に新システム稼働予定

予約時期を2か月前から4か月前からに前倒しするとともに、午前・午後・夜間の区分単位でのみ貸し出していた会議室等を、2か月前の時点で予約のっていない会議室等については時間単位での利用も可能とする。

⇒ 時間単位での使用料の設定に伴い、条例改正案を令和4年第1回定例会に上程予定。



#### ② 空き室の開放事業

空き室を、夏休みなど長期休業期間・土・日・祝日等に学習(自習)室として開放。

⇒ 今年度実施済み

#### ③ 公民館貸館へのWi-Fi環境の拡充

施設の利便性を向上し、多様な講座の実施を図るため、Wi-Fi環境の拡充整備を行う。

#### ④ 双方向型オンライン講座の導入

新型コロナウイルス感染症対策として、新しい生活様式に対応した双方向型オンライン講座をモデル的に実施する。

#### ⑤ 利用者登録(団体登録)の簡略化

利用者登録(団体登録)の申請時に、身分証明書の確認をすることで、即日登録並びに即日利用を可能とする。

#### ⑥ 愛称の設定

認知度の低さ・利用の偏り等の課題を解消するため、親しみやすい愛称を設定し、誰もが積極的に活用できる新しい公民館を目指す。

## (2) 制限の緩和の取組について

### ①地域活動に係る団体への貸館

地域住民を対象に地域貢献や地域問題解決のための活動であれば利用制限を緩和(活動例)

- ・飲食を伴う子ども会などのお見知り会・お別れ会
- ・バザー等物販や食バザー(地域活動に還元するものに限る)
- ・子ども食堂

### ②飲食を伴う活動への貸館

ごみの問題や部屋や机の汚れ、騒音、調理で火を使う場合などのリスクが想定されるため、利用を制限しているが、ごみを持ち帰ることや調理をする場合には調理室を使用することなどを条件として利用制限を緩和

(活動例)

- ・美味しいコーヒーの淹れ方講座など

### ③民間教育事業者等(個人事業者含む)との連携による講座開設

「住民の生涯学習の振興にとって有益であること」、「公平・適切な手続き等を経ていること」の2つを満たすことを条件に主催(または共催)講座として開設できる。

営利的な活動を認める範囲としては、営業所紹介・広報活動までを基本とし、それ以上の営利的活動については、特定の者に特別の利益を与えることにならないよう、マニュアルの作成など手続きを整理したうえで実施する。

## 3 講座体系の見直しの取組について

### (1) 見直しの方向性

生涯学習のすそ野を広げるための取組みとして、現在、公民館では、自主講座の開設希望を募り、初心者(新規参加者)を優先した受講者の募集を行っているが、現状、経験者の方が長年にわたり活動されている場合が多く、新規の方が入りづらい状況であり、仮に入講しても活動しづらく長続きしない実態もある。また、自主講座件数も年々減少傾向にある。そのため、自主講座を見直し、サークル・同好会の立ち上げ支援と既存の活動団体を紹介する支援の2本立てで新規活動支援者への支援を行う。

自主講座延べ利用者数・利用件数

年度	平成29年度	平成30年度	(前年度比)	令和元年度	(前年度比)
自主講座(人)	265,142	263,831	(▲0.5%)	238,196	(▲9.7%)
自主講座(件)	17,255	16,978	(▲1.6%)	15,606	(▲8.1%)

#### 現在《自主講座による新規支援》

- ・公民館で開設希望者を募り開設申請受付・新規参加者を優先に毎年度受講生を募集

#### 見直し後《2本立ての支援》

##### ① 既存の活動団体を紹介する支援

- ・新規参加者の受け入れを行う生涯学習サークルを募り、市HP等で公開し新規参加者を募集
- ・生涯学習サークルとアンマッチの方には②の立ち上げ支援を実施

##### ② サークル・同好会の立ち上げ支援

- ・講師の紹介等の活動支援
- ①でアンマッチとなった方や単独でサークル・同好会の立ち上げが難しい方を対象に、主催講座として短期の体験講座を開催し、講座卒業後には、サークル・同好会の立ち上げを支援する。

### (2) 取組みにあたっての課題

自主講座は、新たに生涯学習活動を始める方の支援を目的に、新規(初心者)の方を優先することを前提に開設期間を1年間に限定して、部屋の確保を行っているが、現状は、経験者の方が多く在籍し、継続して部屋の年間確保を受けている状況。⇒ 現自主講座に実施している年間部屋確保などの取扱いについて検討が必要。